

# 命を大切にして

## 出雲・鳥巣で交通安全講習会

### 娘を亡くした江角さん講演



出雲市東林木町の鳥巣コミュニティセンターで9月30日、交通安全講習会が開かれ、地域住民約60人が参加。同市斐川町神水の仁照寺住職、江角弘道さん(75)と妻の由利子さん(72)、出雲署交通課の森昭夫係長らが事故の悲惨さと事故を起こさない・遭わないために大切なことなどについて話し、命の大切さを訴えた。鳥巣地区交通安全対策協議会の主催、鳥巣慶人会などの共催。

講習会では初めに森係長が、以前に遭遇した車同士の衝突事故現場で、シートベルトをしていなかったために命を落とした学生の話に触れ、大切な命を守

江角さん(奥)の話に聞き入る受講者。9月30日、鳥巣コミュニティセンター

るため、必ず着用してほしいと呼び掛けた。続いて江角さんが、「亡くなった娘からの生命のメッセージ」と題し、1999年に愛娘の真理子さん(当時20歳)を飲酒運転のドライバーによる衝突事故で亡くした経験から、事故の悲惨さと命の大切さを訴えた。

江角さんは、遺族の苦悩を切々と訴え、事故は本人だけでなく周りの人たちの人生にも影響するとし、被害者家族の悲惨な思いを理解して、加害者にも被害者にもならないでほしいと話して、「私たちが、今生きていることは『あたりまえ』ではなく、『おかげさま』

です」と語りかけた。また、妻の由利子さんは、真理子さんを突然亡くして受けた衝撃を赤裸々に語り、犯罪や事故などで理不尽に命を奪われた犠牲者の等身大の人型パネ

ルをメッセージャーとして、その遺品など生きた証とともに展示する「生命のメッセージ展」への思いについて話した。受講した金築保子さん(71)は、「由利

子さんの娘さんへの思いなど、深く印象に残りました。今日の講習で、これから二層交通安全に気をつけたいと思いました」と話していた。